

建築計画 (Architectural Planning)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	必修	3年	2	講義	目山直樹
【授業の概要】 2年次の建築デザイン概論に引き続いて、計画学の基礎となる建築計画総論、および各種建築物の計画各論について学ぶ。					
【授業の進め方】 講義を主体に授業する。教科書の内容にしたがって講義を進める。また折りに触れ小課題、レポート、プランニング課題等を課す。各自に、総論ならびに各論のそれぞれ2回のプレゼン課題を課す。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	環境と建築（野外観察）	身のまわりの自然、建築環境を観察する。これに基づいてレポート課題を与える。また、建築および建築家に関するレポートを作成し、2回～6回の授業のなかでプレゼンさせる。			
2回	建築計画総論 1	建築とは何か			
3回	建築計画総論 2	建築の空間			
4回	建築計画総論 3	建築を規定するもの			
5回	建築計画総論 4	設計の原理			
6回	建築計画総論 5	建築の形態と色彩			
7回	建築計画総論 6	各種建築に共通なことがら			
8回	中間試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。建築計画総論6までを試験範囲とする。			
9回	前期中間試験の解答、解説 建築計画の概要 1	前期中間試験答案の返却、解答および解説 建築計画の意義 計画の進め方、空間と造形			
10回	建築計画の概要 2	構造計画 設備計画 防災計画			
11回	建築計画の概要 3	室内環境計画 設計図書の作成			
12回	住宅 1	クラスを6班に分け、班ごとに各論のテーマに沿ったプレゼン課題を課す。 課題プレゼン（1班） 住宅の概要 計画の進め方			
13回	住宅 2	独立住宅の計画 二世帯住宅の計画			
14回	演習課題 1	9回～13回の範囲の演習課題 および住宅計画の演習課題			
	期末試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。			
15回	解答返却など	前期末試験答案の返却、回答および解説			
16回	集合住宅 1	課題プレゼン（2班） 集合住宅の概要 計画の進め方			
17回	集合住宅 2	集合住宅の平面計画 各部の計画			
18回	事務所 1	課題プレゼン（3班） 事務所の概要 計画の進め方			
19回	事務所 2	事務所の平面計画 各部の計画			
20回	学校 1	課題プレゼン（4班） 学校の概要 計画の進め方			
21回	学校 2	学校各部の計画			

22回	演習課題2	16回～21回の範囲の演習課題			
23回	中間試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。建築計画総論6までを試験範囲とする。			
24回	後期中間試験の解答、解説 図書館1	後期中間試験答案の返却、回答および解説 課題プレゼン(5班) 図書館の概要 計画の進め方			
25回	図書館2	図書館各部の計画			
26回	劇場1	課題プレゼン(6班) 劇場の概要 計画の進め方			
27回	劇場2	劇場各部の計画			
28回	建築物の外部空間	外部空間計画の概要 事例にもとづく解説			
29回	演習課題3	24回～28回の範囲の演習課題			
	期末試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。			
30回	解答返却など	後期末試験答案の返却、解答および解説			
【到達目標】	前半では、建築空間や建築計画に関する基礎的概念、用語をが理解できることを目標とする。後半の建築計画各論では各種建築物に関する基礎知識を修得し、計画手法を身につけることを目標とする。				
【徳山高専学習・教育目標】	C1		【JABEE基準1(1)】		
【評価法】	評価 = (定期試験4回の点の合計 / 4 × 0.8) + 2.0 (課題の評価点。未提出があるものは加点しない) 授業態度等を加味して総合評価する。なお、中間段階の評価は試験結果を優先する。				
【テキスト】	テキスト 建築計画 学芸出版社(川崎寧史、山田あすか編著) 参考図書 コンパクト版建築設計資料集成 丸善(1年次の教科書として購入済み) 新建築学体系 彰国社 より該当分野を適宜参照 住環境の計画 1-5巻 彰国社				
【関連科目】	建築環境工学(本科4年)、建築設備(本科5年)、工学デザイン基礎I～III(本科1～3年)、工学デザインI～II(本科4～5年)、創造演習(本科4～5年)				
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】
					学年末成績 【 】